

トラック 01

★イズ：

いやあ、実に参った

普段通り助手くんに薬を飲ませて効果を調べようとしたんだが
まさかまさかだ。

間違えて、媚薬を飲ませてしまうだなんてね～

これはまずい。

なんせ君が飲んだのはこの天才錬金術師特製媚薬なのだから

既得権益に胡坐を掻いたそこらの木っ端錬金術師のものと比べて
薬の効果は強力無比

具体的には

まあ性交渉を複数回するまで効果の切れない優れものさ

しかしだね。君はいやしくもこの私

イズ・ドラシク唯一の助手な訳だ

もしも君がその性欲に任せて

どこの馬の骨とも分からない女を孕ませてみたまえ。

私の沽券に傷がつく

と言う訳で、だ

★イズ：

非常に不本意ではあるが

この私が性処理をしてやろう

感謝したまえよ？

私は見ての通り容姿まで優れている。

本来君のような凡人にとっては

高嶺の花極まれりだぞ？

.....ふふ。よろしい

まあアクシデントとはいえ

こういうことは順序が大事だ

まずはキスから.....

★リア：

ちーっす。遊びに来たぜ〜.....

.....は？

★イズ：

うわ、面倒なのが来た

★リア：

聞こえてんぞコラ！

何やってんだ馬鹿錬金術師！

★イズ：

まあまあ、ちょっと向こうで話そう

★イズ：

実はかくかくしかじかでね

★リア：

なるほど、不幸な事故だと

★リア：

.....お前、わざとやったろ！

抜け駆け禁止だっつったじゃん！この馬鹿イズ！

★イズ：

あー、はいはい。

分かったから耳元で吼えるな

★イズ：

じゃあこうしよう。ごによごによごによ

★リア：

え.....？い、いいのか？

★イズ：

事ここに至ればね

★リア：

しゃ、しゃーねえなあ

★リア：

お、おい相棒。事情はイズから聞いたぜ？

お前にはアタシも色々世話になってるし〜？

だ、だからさ〜。

きよ、きよ、協力してやんよ〜

★イズ：

.....白々しっ

★リア：

うっせえ！

トラック 02

★イズ：

じゃあ、舌をらしたまえ

★リア：

じゃあ、舌らせ

★イズ：

ん.....ちゅ.....

★リア：

んふう.....んむ.....

★イズ：

ふはっ

★リア：

ふはっ

★イズ：

よし、じゃあ始めようか。

まずは手でしてあげよう

上から下まで

ゆっくり扱いてあげるよ

★リア：

おい。チンが独占すんな。

ったく。

じゃ、じゃあアタシは金玉いじってやる。

★リア：

.....気持ちいいか、相棒？

へへ、そりゃよかった

★イズ：

言うまでもないことだが

性処理はこれで終わりじゃないぞ？

しっかり、最後までするよ

凡人の君にも分かるように言えば

いわゆる『セックス』だ

前戯で終わらせて不完全燃焼などというのは

効率的じゃないからね

★リア：

アタシも同意見だぜ、相棒。

三人で気持ちよくなろーな

★イズ：

まあ、まずは私とだが

は？

★リア：

まあ、まずはアタシとだけど

は？

★リア：

いや、ここはアタシが先だろ！？

お前に協力してやってんだぞ！？

★イズ：

この状況を作り出したのは私だぞ？

それより何より彼は私の助手くんだ。

★リア：

それをいうならアタシの相棒だっつーの！

★イズ：

まったく、埒が明かないな。

ここは助手くん決めてもらおう。

★イズ：

なあ、助手くん。

君も、私と先にしたいだろう？

天才錬金術師とセックスなんて

助手冥利に尽きるよな？

★リア：

いや、アタシだ。

相棒、アタシは世界を救った勇者様だぞ？

アタシと先にエッチしたいよな？な？

★イズ：

考えてみてくれ。

私のほうが、雌として優れてるぞ？

例えば、乳房だ。

君がいつもチラチラ見てる乳房。

いわゆる、『おっぱい』だな。

とても柔らかくて、大きくて、重いんだ。

当然だ、メートルを超えているんだから。

これを好き放題に揉みしだきながら

交尾したいとは思わないかい……？

★リア：

そ、それを言うならアタシだって結構胸あるし.....

それより何より、尻もでけえ

ほ、ほら相棒。

アタシの尻肉、思いっきり

バプバプやりながらハメたくねーか？

安産型のデカケツに種付けしたら

ぜってえ気持ちいいぞ.....？

★イズ：

おっぱいの方が、ペニスにクルだろ？

★リア：

ケツの方が、チンポいらつくだろ？

トラック 03

★リア：

あっ.....。

へへ、金玉うねうねしてきたな.....。

★イズ：

陰茎も脈打ち始めた。

亀頭も張りつめてきたね。

★イズ：

射精するのか？

★リア：

射精すんのか？

★イズ：

ふふ、私の手淫と淫語が随分良かったようだね。

★リア：

なーに言ってんだ。

アタシの玉揉みとやらしー言葉のお陰だろ？

な、そうだろ相棒？

ほら、出す時まで金玉カリカリしてやっから。

我慢せず出していーぞ？

★イズ：

おいおい、駄目だぞ？

床が汚れてしまうからね。

★リア：

へへ、じゃあアタシが手で受け止めて……。

★イズ：

だから、代わりに……

★イズ：

はむ……。

★リア：

あ、おい！？

★イズ：

こうひて、くひのなかにぜんぶだひてくれ。

★リア：

ず、ずるいぞこの！

あ、アタシもっ……

★リア：

んむうつ！

★イズ：

んふっ……。

……こら、横取りとは感心しないな。

私にも分けたまえ。

★リア：

んむうっ……。

じゃ、じゃあ左右からだ。

一本丸ごとじゃなくて

左右から餡みたいに舐めたら

二人で味わえんだろ！

★イズ：

はあ、しょうがないなあ。

★イズ：

れるう……。

★リア：

んふっ。

ちゅっ……ちゅぱっ……

べろお……。

★イズ：

気持ちいいかい、助手くん？

★リア：

きもひーだろ？

ほら、ションベン穴も舐めてやるぞ？

★リア：

んええ……。

★イズ：

こら、カウパーが君の唾液で薄まってしまうだろ。

★リア：

うるへっ。

ここがあいぼーの味が一番濃いんだよ。

★リア：

こうひて、唇押し当てて、ジュースみたいに……。

ずぞっ。

ずぞぞぞ……。

★イズ：

はあ、いやしい奴め。私にも寄越せ。

★イズ：

んべえ……。

★リア：

んあっ……。

こら、無理やりペロねじ込んでくんな……。

アタシの舌とあたんだろ……。

★イズ：

私も君とのディープキスなんてごめん被るがね。

こうしないと助手くんのカウパーじゃなく

発情した雌臭い唾の味しかないんだ。

★リア：

こによお……。だれがはつじょーなんか……。

はぶっ。れちゅれちゅ……。

★リア：

……あ。なんか、いかくせーの濃くなってきた。

★イズ：

べろお……。

ちゅっ……ちゅばっ……。

★イズ：

いよいよ出るみたいだね。

ほら、助手くん。

れえ……。

私の舌を狙いたまえ。

★リア：

バカ、アタシのペロだ。

こっちに多めにくれよ？

れろれろれろ……。

★イズ：

らーせ、らーせ、らーせ。

★リア：

らーせ、らーせ、らーせ。

★イズ：

……隙あり。

はもっ。

★リア：

は？

★イズ：

んぶっ……。じゅっ……。ぢゅるるるるるっつ……。

★リア：

わあ～！？こ、この馬鹿イズ！？

何一人で奥まで咥え込んでっ！

★イズ：

んぶっ。んふっ。

ぢゅうううううううう～～～～～～……………。

★リア：

あっ……。ああ～……。

出てる……。出てるう……。

金玉、ぎゅうううっつ……ってせり上がって。

相棒も気持ちよさそーな顔してるし……。

★リア：

てか、フェラなげーぞイズ！？

お、お前まさか……。

このっ！

は～な～れ～ろ～！

★イズ：

ちゅっ.....ちゅうううう.....。

ぶぽっ.....ぶぽっ.....。

★イズ：

ちゅううううう.....ちゅぽんっ。

★リア：

えっ？ええっ！？

うわあ、やっぱり！？

★リア：

はむっ。ちゅっ。ちゅうっ。

ふはっ。あ、味うっす！？

★リア：

イズてめえ！

尿道に残ってる分も

全部吸い取りやがったな～！？

★イズ：

んふふ.....。

ごひほーはま♡

トラック 04

★リア：

この、ずりーぞイズ！

独り占めすんな！

口開けろ！ちょっと寄越せ！

☆イズ：

んっふっふ。

やりゃね。

★リア：

ああ、くっそ！

全然開きやがらねーこいつ！

くっそ、かくなる上はっ！

★リア：

はむっ！

ぢゅううううううっ！！

☆イズ：

ん～！？

★リア：

ちゅっ……！ぶちゅっ！

よこへ～……。

ザーメンよこへ～……。

★イズ：

ん～！

んむう～！

★リア：

ふはっ！こんのっ！？

舌入れんぞ！？早く口開けろ！

★イズ：

んむう～。

★リア：

こいつう……！

ベロ先入んねえように歯あ食いしばってやがる！

もう怒った！

意地でもぶんどってやるからな！

★イズ：

ん～？

★リア：

へへ、何するつもりだったか？

決まってるだろ。

.....こーすんだよ！

★リア：

うりゃうりゃ！

手マン攻撃～！

★イズ：

んんううう～～～～！？♡

★リア：

へへへ、ヌルヌルにしやがってこの！

お陰でいじりやすいつての！

★イズ：

んぎゅうううう～～～！？♡

んむっ！？♡

んゝ んんん～～～っ！！！？♡

★イズ：

ツッオゝ ほおっ！？

★リア：

あはは、潮噴きやがった！

.....隙あり！

★リア：

はふっ！

んぶううう～～っ！

☆イズ：

お` ぷっ！？

お` うううううっ！？

★リア：

ぢゅっ.....！ぢゅるっ.....！！

れぢゅっ.....べぢゅっ.....！

このっ.....よこへっ.....。

じえんぶよこへえ～.....。

れりゅれりゅれりゅ.....。

★リア：

ぷはっ.....。

あー、うっめえわ、これ.....。

相棒のザーメン、すっげえ濃い.....。

★リア：

ま、どっかのバカメスの唾で

ちょっと薄くなっちまってるけど.....。

★イズ：

う、うるひゃい.....♡

このっ.....♡

よくもお.....♡

★リア：

おいおい、何だよその反抗的な目は。

お前が悪いんだぞ？

先に独り占めしようとするから。

.....あ、良いこと思いついた。

★イズ：

え？♡

ちょ、ちょっと？♡

や、やめろ♡何のつもりだ♡

こら♡何でまたそこに手を近づけるんだ♡

もう精子は渡しただろ？♡

★リア：

へっへっへ。

んなもん決まってるだろ。

うりゃっ！

★イズ：

んほおっ！？♡

★リア：

イケ！

イケイケイケ！

ぶっさいくなイキ声上げろバーカ！

★イズ：

んお` おおおおおっ！？♡

イグッ！？♡イグイグイグイグッ！？♡♡

★イズ：

ッッオ` おオオンっ！！！？♡♡♡

はー.....♡はー.....♡♡

★リア：

へっへっへ、貧弱女め。

二回イっただけでグロッキーになってやがる。

★リア：

.....ま、そんな雑魚アクメ見て

チンポ硬くしてるお前もお前だけどな♡

な、あいぼー♡

イズはこの通りへばってるし、

先にアタシとやろーぜ♡♡

★イズ：

そ、それが狙いかぁ♡

ひきょうものお♡♡

★リア：

うっせー♡おら、追い打ちっ♡

★イズ：

おひゃっ！？♡♡

ほへっ♡♡ほへへ♡♡

★リア：

はい、いっちょ上がり♡

マンコから悔し涙流しながら

そこで拝んどけ馬鹿イズ♡♡

トラック 05

★リア：

へへへ、てなわけで.....♡

待たせたな、相棒♡

エッチはアタシが一番手だ♡

わりいけど、アタシはイズと違って

スタミナやベーぞ？♡

一回じゃ止めてやんねーから、覚悟しろよ？♡

あはは♡

チンポ、ぴくついてんじゃん♡

期待してんなあ？♡スケベ♡

ほれ♡

じゃあ、好きなとこ触っていーぞ♡

乳揉んでもいいし

初っ端からマンコに突っ込んでもいいぜ？♡

な、どこ弄りてえんだ？♡

★リア：

んゝっ.....♡♡

★リア：

.....へえ〜♡

んふふ、なるほど♡

そっかそっか♡

最初は、ケツ揉みか♡

やらしーなあ、おい♡

どうだ？♡

でっけえケツだろ♡

お前せんよーのデカケツだぞ？♡

ん.....♡♡

へへ♡

えっろい触り方しやがって.....♡♡

どうだ？♡

自分で言うのもなんだけど

揉み心地最高だろ？♡

アタシはイズと違って

毎日ちゃんと鍛えてるからな♡

筋肉の上に脂肪が乗って

こんな風にムチムチになんだぜ？♡

★リア：

マシュマロみてえで、チンポにクんだろ？♡

あはは♡

何も言わなくていいぞ♡

あそこの反応見てりゃ、嫌でも分かるって♡

★リア：

な、もうハメてえんじゃねえか？♡

いいぜ♡

ほら、来いよ♡

押し倒してこい♡

★リア：

あ、こら♡

今更恥ずかしがんな♡

ははーん♡お前、さてはどーで一だな？♡

やりい、初物いただきい〜♡

だいじょーぶだいじょーぶ♡恥ずかしくねーって♡

アタシも処女だし♡

★リア：

おら♡

世界を救った勇者様のハジメて♡

ほしくねーか？♡

なんならさあ♡

★リア：

.....ガチで孕ませてみたくね？♡

へへへ、嘘じゃねえよ♡

本気だ本気♡

アタシん中にさあ♡

気ん持ちいい〜の、びゅるる〜っ♡♡って

種蒔きさせてやるよ♡♡

そんで.....♡

お前の赤ちゃん、産んでやる♡♡

★リア：

あはっ♡おいおい、チンポばっきばきじゃん♡♡

繁殖欲ヤバすぎだって♡♡

じゃあ、最初はお前に動かせてやんよ♡♡

ケツ向けっから、本気で腰振れ♡♡

★リア：

安心しろって♡

アタシは勇者だからなあ♡♡

体幹やベーから、お前程度のピストンじゃびくともしねーよ♡♡

思いっきりがつついてみやがれ♡♡

★リア：

ほら、来い♡チンポ来い♡♡

マンコはめてみろ♡♡

気持ちよすぎて

入れた瞬間出すんじゃねっ—

★リア：

—えぞお` おおおっ！！？♡♡♡

お` っつ.....！！？♡♡

お` ほっつ.....！！？♡♡

★リア：

ふしゅっ.....！！？♡♡

ふしっ.....！！！！♡♡

っつ.....お` おおお.....♡♡

★リア：

やべっ.....♡♡

生チンポやべっ.....♡♡

ンゝ ツ.....おゝ おお.....♡♡

★リア：

ま、マジか.....♡♡

処女喪失の痛みが

全部どっかいつちまった.....♡♡♡

相性よすぎんだろ.....♡♡♡

★リア：

あ、やべ♡♡

気持ちいいのが

どんどん溜まってきて.....つつおゝ お.....♡♡

★リア：

ふえっ！？♡♡

な、なんでもねーよ♡♡

べ、別に思った以上に

お前のチンポの具合が良くて

イきかけてるとかじゃねーから.....♡♡

★リア：

え？♡♡

あ、動く？♡♡

あ、あはは♡まあまあ♡

そう焦んなって♡♡

ゆっくり♡

ゆっくりやろ一ぜ？♡♡

お互いハジメてだろ？♡な？♡

★リア：

だからちょっと

休けえゝ えええつつ.....！！？♡♡

★リア：

つつひゅーっ♡♡

へひゅっ♡♡へひっ♡♡

★リア：

きゅ、きゅーにチンポひくなっ♡♡

マジでしにゅっ♡♡

え？♡♡

ち、ちがうっ♡♡

いたいとかじゃないっ♡♡

★リア：

良すぎてしにゅっ♡♡

チンポ良すぎてマンコしにゅっ♡♡

たしゅけてっ♡♡マンコ手加減してっ♡♡♡

.....あ♡♡あ～♡♡

なるほど、止める気ねーなお前？♡♡♡

ふへっ♡♡ふへへっ♡♡

分かった♡♡分かったよ♡♡

じゃ、じゃあさ♡♡ガチでハメていーからさ♡♡

.....アタシがどんなぶっさいくな声でアクメしても

萎えんなよ？♡♡♡

★リア：

オゝ ツッ！！？♡オゝ ツッ！！？♡♡

ぴしゅとんきたあぁっっ！！？♡♡♡

★イズ：

.....ふひゅうっ！？♡

っ.....はあ～.....♡♡

き、気絶してたのか、私は？♡

.....え？♡

★リア：

ホおゝ オゝ おおおおおっつ！！！！？？♡♡♡

オゝ んっつ！！？♡♡オゝ んっつ！！！！？♡♡♡

オゝ ツオゝ ツオゝ ツオゝ ツッ！！！！？♡♡♡

★イズ：

うわっ.....♡♡

う、嘘だろ？♡♡

あのリアが、こんな.....♡♡

こんな、恥も外聞もない.....♡♡

★イズ：

じょ、助手くんも.....♡♡

な、なんてえげつない腰振り.....♡♡

まるで動物じゃないか.....♡♡♡

★リア：

ンゝ ツ！！♡♡ンゝ ツ！！♡♡♡ンゝ んっつ.....！！！！♡♡

ふしゅーっ.....♡♡ふしゅーっ.....♡♡♡

★リア：

ふっ.....♡♡ふっ♡♡ふーっ♡♡ふう う う う うっつ♡♡♡

★リア：

.....ツッンゝ ぎいつ！！？♡♡♡

★リア：

ンゝ ツ！！♡♡ンゝ ンゝ ツ！！♡♡♡

ンゝ オっっ.....！！♡♡

★イズ：

えっ？♡♡な、何だ今の♡♡

リアの背筋が、びくんっ♡♡って跳ねて♡♡

★リア：

ほへっ♡♡ほへへっ♡♡ほへえええ～♡♡♡

タマゴっ♡♡

たまごでたあ～っ♡♡♡

★イズ：

あ♡あー♡♡な、なるほど♡♡

そっか、排卵したか♡♡

すっごく幸せそうな顔で笑って♡♡

仕方ないよなあ♡

このまま出されたら、確実に.....♡♡♡

★リア：

っつオゝ ッ！！！？♡♡

オゝ ッ！！！？♡♡オゝ ッ！！！？♡♡オゝ オゝ おおっつ！！！？♡♡♡

★イズ：

わ♡♡び、ピストン早くなった♡♡

リアが排卵したこと、本能で理解したんだね♡♡

一刻も早く種付けしようと、必死じゃないか♡♡♡

んふーっ♡♡な、何て荒々しい交尾なんだ♡♡

人間も、繁殖する時はモンスターと変わらないんだな♡♡

★リア：

っつオゝ ッ！！！？♡♡

オゝ ッ！！！？♡♡オゝ ッ！！！？♡♡オゝ オゝ おおっつ！！！？♡♡♡

★リア：

ふひゅっ！！！？♡♡ふひゅっ！！！？♡♡♡

オゝ オゝ おおおお～～～イグッッ！！！？♡♡♡

イグイグイグまんこイグッッ！！！？♡♡♡♡

★リア：

イグううううううッッッ！！！？♡♡♡♡

★リア：

ツツ.....お.....♡♡おおお.....♡♡♡

★イズ：

あ.....♡♡出てる.....♡♡

助手くんの睾丸が、ピクピク震えて.....♡♡

わ、凄い.....♡♡

出しながら、強く腰を押しつけて.....♡♡♡

なんてしつこい.....♡♡♡

あれじゃあ卵子が逃げられないじゃないか.....♡♡♡

トラック 06

★リア：

つつ.....へひゅう.....♡♡

えへっ♡えへへっ♡♡

★イズ：

あ.....♡

★イズ：

ふ、ふふ.....♡♡

リアのやつ、たった一回で失神じゃないか♡

情けない♡♡

じゃ、じゃあ助手くん？♡♡

次は、私と.....♡

わ、私と.....♡♡

ええっと.....その♡♡

★イズ：

.....思ったんだがね？♡

一日に二回もセックスするというのは

ちょっと健康に悪いんじゃないか？♡

うん、そうだよ♡

今みたくけだもののように子種を注ぐ全力交尾は
ものすごお〜く身体に負担をかけるに違いない♡

だ、だからだね♡

どうだろう？♡

私とのセックスは、日を改めるというのは♡

いや、別にあれだぞ？♡

君の今のピストンを見て

怖気づいたとかじゃないぞ？♡

ただ、君の健康を気遣ってだね.....♡♡

★イズ：

.....きゃあっ！？♡♡

★イズ：

こ、こら♡

助手くん、私の言うことを聞き給え♡

この天才が凡人の君のために

知恵を絞って助言をしてあげてるのに――

★イズ：

っっほお` おおおおお〜〜〜〜っっ！！！？♡♡♡

★イズ：

こ、こによおっ.....♡♡♡

わたひは処女だぞお〜.....♡♡♡

も、もっとゆっくり入れたまええ〜.....♡♡♡

つつんゝんゝう.....♡♡

はひっ♡♡ふひいつ.....♡♡♡

★イズ：

あっ.....あっあっあっ.....♡♡

なんらこれっ♡♡

気持ちいいムズムズ、お腹から滲んできてっ.....♡♡♡

つつ.....びいつ！！？♡♡♡

★イズ：

つつ.....ほおお.....♡♡♡

ま、まさか.....♡♡

これが、排卵.....♡♡♡

んゝつつ.....！！？♡♡

ま、また膣内でペニスが膨らんでっ.....♡♡♡

★イズ：

おゝ っっ.....♡♡

ば、ばか.....♡♡ペニス、引き抜くなあ.....♡♡

くひゅっ.....♡♡やばっ.....♡♡

カリ首が引っ掛かって、ブリブリって.....♡♡♡

★イズ：

おゝ っ.....♡♡

おゝ おおゝ おゝ おっっ.....♡♡

やめっ.....♡♡

やゝ めろっ.....♡♡

ペニスとめろゝ おっ.....♡♡

しきゅうゝ っ.....おちるゝ っ.....♡♡♡

本気で孕む準備始めるっ.....♡♡♡

★イズ：

ほへっ.....♡♡

はへえ.....♡♡♡

★イズ：

こ、このっ.....♡♡♡

君い.....♡♡ちょっと、良くないぞお.....♡♡

★イズ：

さては自分のペニスで排卵したメスは
全員子ども産んでくれると
思ってるだろお.....♡♡

リアのやつめっ.....♡♡

私の助手くんに
よくない成功経験積ませてえ.....♡♡♡

.....は？♡♡

じゃ、じゃあ産んでくれないのかって？♡♡

★イズ：

.....いや、それは♡

.....産むけど♡♡

★イズ：

ン` オ` オっっっ！！！！？？？♡♡♡

お` んっっ！！！！？♡♡お` んっっ！！！！？♡♡

お` ん` っっ！！！！？？♡♡♡

前戯なし即ハメピストンきっくう〜〜！！？？♡♡♡

いぐっっ！！！！？♡♡

い` ぐいぐいぐいぐっっ！！！！？？♡♡♡

★イズ：

っっお` ぴょおっっ！！！！？？♡♡♡

へひっ！！？♡♡へひっ！！？♡♡

もういった♡♡いったからっ♡♡

ピストンやめてっ♡♡♡

はらんだっ♡♡はらみましたっ♡♡

尿道の残りカスで卵子ぶっちゅんしましたっ♡♡♡

だからもうやめてくさいっ♡♡♡

★イズ：

うしょっ♡♡うしょうしょうしょっ♡♡♡

なんでつづけりゅによっ！！？♡♡♡

しょんなっ♡♡♡

せーしだすまでやめないつもりらっ♡♡♡

えっぐいチンポでまんこハメ潰すつもりらあっ♡♡♡

たしゅけてっ♡♡♡

たしゅけてっ♡♡♡

ゆるひてえ〜〜〜っ♡♡♡♡

★イズ：

お` っつぎやあああああああああああ〜〜〜〜〜ッ！！！！？？♡♡♡♡

★イズ：

つつ.....ほへっ♡♡

でてるっ.....♡♡

こゆいのでてるっ.....♡♡♡

お腹に重たいのが

むりゆりゆりゆっ.....つて♡♡♡

つつ.....おゝ おお.....♡♡

あつつ.....っ.....♡♡♡

種付けて.....こんなに、あついんだ.....♡♡♡

えへっ.....♡♡

えへへっ.....♡♡

★リア：

.....ふひゅううううっ♡♡

や、やっとマンコおちついた.....♡♡

っと.....♡♡

なるほど、今イズの種付けが終わったとこだな.....♡♡

あはは、相棒すっげ.....♡♡

チンポ奥まで突っ込んで金玉押し付けながらグリグリしてる.....♡♡

★リア：

これ、やっべえんだよなあ～……♡♡

チンポ圧でポルチオ磨り潰されて

子宮口くばついちまう♡♡

ノーガードでタマゴに

濃いいの引っかけられちまうから……♡♡

……へへっ♡♡

っ……くお……♡♡

やべ、子宮のズッシリ感が引いてくんねえ♡♡

これ、やっぱ当たっちまってるなあ♡♡

精子が卵子にブッ刺さって

ブリブリ細胞分裂してんの分かるもん♡♡

気配が今までと別モンだわ♡♡

★リア：

イズ、お前もこれでママになっちまうな♡♡

でけえ乳が更にでかくなって

ミルク出るんじゃないか？♡♡

★イズ：

う、うるひゃい……♡♡みみもとでしゃしゃやくな……♡♡

いま、いいところなんだ……♡♡♡

★イズ：

ほお.....ん.....♡♡

★リア：

あはは♡

こりゃ、タマゴの表面つんつんされてるところかな？♡♡

マンコぞわぞわして、すんげえ気持ちいいやつ♡♡

お、相棒♡

金玉のどくどく終わったな♡♡

スッキリしたろ？♡♡

へへ、んじゃあチンポ抜けよ♡

萎えチン、アタシが口で綺麗にして.....♡♡

★リア：

.....は？♡♡

★イズ：

.....は？♡♡

★リア：

え？♡♡うっそ.....♡♡

何でまだでけえの.....？♡♡

★イズ：

ふ、ふふふ♡♡

これは、もう三周はしなきゃ駄目かも.....♡♡

★リア：

あ、相棒♡♡

と、とりあえずもっかいイズにハメたら？♡♡

★イズ：

む、無理無理♡♡きゅーけいさせろ♡♡

つぎはリアとまぐわいたまえ♡♡

こいつのデカイ尻叩きながら

セックスしたら気持ちいいぞ、多分♡

★リア：

いやいや♡♡

イズのデカ乳揉みながら出した方が

スッキリするって♡♡

な、一時間♡

いや、三十分休ませて♡♡

★イズ：

あっ♡♡

★リア：

あっ♡♡

★イズ：

あ、あはは♡♡

二人同時に組み伏せられてしまった♡♡

★リア：

え、えーっと♡♡

その♡♡

相棒♡

★イズ：

助手くん♡♡

★イズ：

手加減してください♡♡♡

★リア：

手加減してください♡♡♡